



地理空間情報活用推進局長会議について

- 第4期地理空間情報活用推進基本計画の実効性を高めるため、計画の中心となる シンボルプロジェクトの推進及びプロジェクト間の連携の強化を目的として新たに設置
- シンボルプロジェクトを担当する部局の局長級で構成

○地理空間情報活用推進局長会議

(通称：G空間プロジェクト推進局長会議)

議長	内閣総理大臣補佐官
議長代理	内閣官房地理空間情報活用推進室長
構成員	内閣府政策統括官（防災担当） 内閣府科学技術・イノベーション推進事務局統括官 内閣府宇宙開発戦略推進事務局長 総務省国際戦略局長 文部科学省研究開発局長 農林水産省大臣官房技術総括審議官 経済産業省製造産業局長 経済産業省商務情報政策局長 国土交通省大臣官房技術審議官 国土交通省都市局長 国土交通省国土地理院長 環境省地球環境局長

※必要に応じ、関係者の出席を求めることができる

○局長会議開催スケジュール（案）

【第1回会議】（5月24日）

- ・「地理空間情報の活用推進に関する行動計画（G空間行動プラン2022）」におけるシンボルプロジェクト工程表について

【第2回会議】（7月予定）

- ・令和5年度概算要求 G空間関連予算について
- ・シンボルプロジェクトの進捗及び施策間連携の状況

【第3回会議】（2月予定）

- ・令和5年度政府予算案 G空間関連予算について
- ・シンボルプロジェクトの進捗及び施策間連携の状況（次年度の取組方針）



【参考】地理空間情報活用推進会議の体制の強化について

- 地理空間情報活用推進会議の議長代理に総理大臣補佐官を追加するとともに、同会議の下に、同補佐官を議長とする新たな会議体として「地理空間情報活用推進局長会議」を設置する。
- 「地理空間情報活用推進局長会議」においては、次期地理空間情報活用推進基本計画の中心となるシンボルプロジェクトの推進及びプロジェクト間の連携を強化することで、計画の実効性を高める。

○地理空間情報活用推進会議

局長級

(議長) 内閣官房副長官 (政務及び事務)
 (議長代理) **内閣総理大臣が指名する内閣総理大臣補佐官 (森昌文 内閣総理大臣補佐官)**
 内閣官房副長官補 (内政担当)
 (副議長) 内閣官房地理空間情報活用推進室
 内閣府科学技術・イノベーション推進事務局
 内閣府宇宙開発戦略推進事務局
 総務省、文部科学省、経済産業省
 国土交通省の各局長級

(構成員) 内閣官房国家安全保障局
 内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局※
 内閣府政策統括官 (防災担当) ※
 デジタル庁※
 警察庁、法務省、外務省
 財務省、厚生労働省、農林水産省
 環境省、防衛省の各局長級

※新たな基本計画において連携が重要となるデジタル田園都市国家構想実現会議事務局、内閣府 (防災)、デジタル庁の各局長級を構成員へ追加

○地理空間情報活用推進局長会議

新設

局長級

(議長) **内閣総理大臣補佐官**
 (議長代理) 内閣官房地理空間情報活用推進室長

(構成員) 内閣府 (防災担当)
 内閣府科学技術・イノベーション推進事務局
 内閣府宇宙開発戦略推進事務局
 総務省、文部科学省、農林水産省
 経済産業省、国土交通省、環境省の各局長級

※構成員は、シンボルプロジェクト担当部局の局長級。必要に応じ、関係者の出席を求めることとする

○地理空間情報活用推進会議幹事会

課長級

(議長) 内閣官房地理空間情報活用推進室長
 (議長代理) 内閣官房内閣審議官 (内閣官房副長官補付)
 内閣府宇宙開発戦略推進事務局審議官
 国土交通省不動産・建設経済局次長

(副議長) 内閣官房、内閣府、総務省、文部科学省
 経済産業省、国土交通省の各担当課長級
 (構成員) 地理空間情報活用推進会議の構成員の各担当課長級



施策間連携について（産業・経済の活性化）

リアルタイムデータや信頼性のある高精度な位置情報の活用により、生産性の向上を実現

- 第3期：ドローン、3次元データの活用
⇒ スマート農業の技術開発・実証等やICT施工の拡大
- 第4期：スマート農業の加速化やICT施工の一層の拡大 + 他のG空間施策との連携強化（民間等電子基準点の利用促進等）
⇒ G空間情報の高度な活用を推進し、高齢化や労働力不足に対応

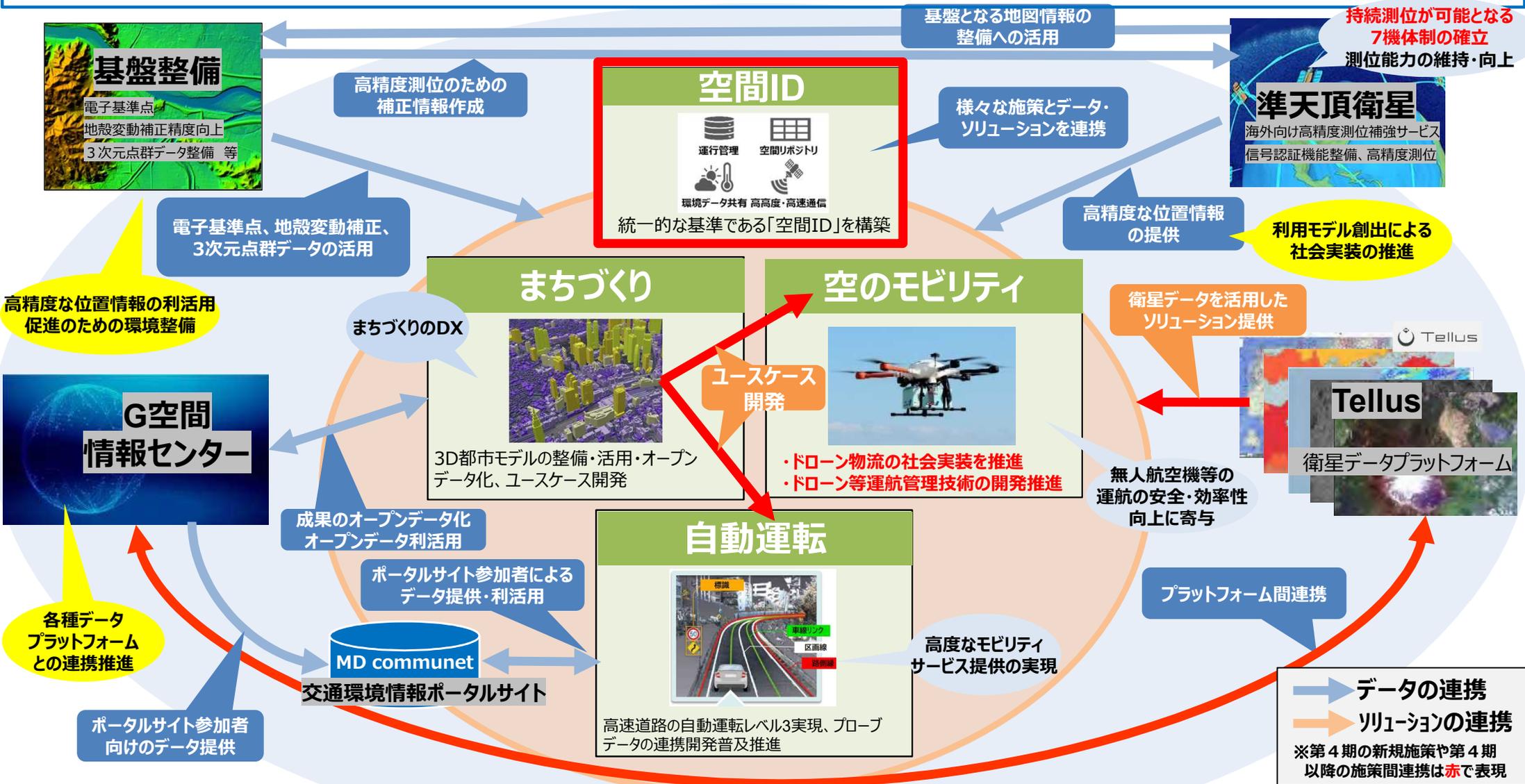




施策間連携について（豊かな暮らしの実現）

オープンでリアルタイムなデータや新たなデジタル基盤の構築・活用により、多様なサービスを創出・実装

- 第3期：自動運転車（レベル3）の市販開始、3D都市モデルの整備開始
- 第4期：3次元点群データを活用した3D都市モデル、空間IDの構築等 ⇔ 自動運転・空のモビリティサービスでの活用
+他のG空間施策との連携強化（衛星データ活用によるソリューション提供等）
⇒ G空間情報を高度に活用した多様なサービス・ビジネスの創出



持続測位が可能となる
7機体制の確立
測位能力の維持・向上

高精度測位のための
補正情報作成

基盤となる地図情報の
整備への活用

様々な施策とデータ・
ソリューションを連携

高精度な位置情報
の提供

利用モデル創出による
社会実装の推進

高精度な位置情報の利活用
促進のための環境整備

電子基準点、地殻変動補正、
3次元点群データの活用

衛星データを活用した
ソリューション提供

無人航空機等の
運航の安全・効率性
向上に寄与

成果のオープンデータ化
オープンデータ利活用

ポータルサイト参加者による
データ提供・利活用

プラットフォーム間連携

高度なモビリティ
サービス提供の実現

各種データ
プラットフォーム
との連携推進

ポータルサイト参加者
向けのデータ提供